

## 『Proud of 大成』～大成中を誇りに思う～

### その1. 読書感想文コンクールで準特選

今年は、運動部の活躍ばかりではなく、文化的な面でも活躍が目立ってきました。夏休みの課題であった読書感想文で、なんと2名の感想文が準特選というすばらしい評価を得ました。坂田芽華美さんの「私の中の裏庭」、西村美紅さんの「人生は自分の手で切り開こう」の2作品です。読書感想文に限らず、皆さんの頑張りが評価され、それを知らされたときの先生方の表情は、喜びに満ちあふれています。何物にも代え難い嬉しさなのです。そして、喜ぶ先生方を目にして、校長先生もシアワセな気分になるのです。今回、各教科の作品展でも、入賞があるようです。楽しみにしています。



### その2. 大成ダイソン(10月)

昨年企画された生徒会の自主活動『大成ダイソン』が、今年に引き継がれ、定着してきたことが嬉しい。私は、自主的に清掃活動に参加する人たちは、決してゴミをまき散らす人にはならないと思うのです。わがままで自分勝手な人は、決して自分から進んで落ちていたゴミを拾いません。ゴミを拾うことができる人は、周りに優しい気遣いができる人なのです。私たちの学校が、美しくなることだけではなく、優しい気遣いが増えていることが嬉しいのです。



## 【道徳の授業から】

先日1年生の道徳で、命の尊さについて、自分の考えを深める授業が行われました。『新ちゃんの流しびな』という教材を使いました。生まれただけの我が子を失ってしまった主人公の心にふれる教材です。

(生徒の感想)

- ・今生きていることも、キセキかもしれない。そう思えば幸せだと思う。
- ・もし自分が生まれてすぐに死んでいたら、母もこんなに悲しんだのかなと思った。
- ・今日の話は胸に響いた。自分はもっと命の重みを知ってゆき、大切にできる人になりたい。

感想には、『自分を大切にしないといけないと思った』『親の悲しみを思った』『あらゆる命の大切さを思った』など、様々な思いが書かれてありました。生徒たちの心の素直さや豊かな感性を、私はうれしく思いました。

親殺し、子殺し、通り魔殺人、虐待など悲惨な記事を連日のように新聞で目にします。また、ネットやゲーム上のバーチャル世界(仮想世界)でも、命は驚くほど軽く扱われています。学校で『命の教育』を重点目標に置かざるを得ない社会の現状に、憂いを持っています。

## 【創立50周年を迎えて】

いよいよ来月6日(土)、創立50周年の式典が挙行されます。先日は、記念の航空写真を撮りました。人文字は、369枚の応募の中から選ばれただけあって、すっきりとした良いデザインだと思います。当日は、8時30分から9時まで、グラウンドで全校生が参加する式典を行い、10時から来賓を招き、旧職員や地域の方々、代表生徒が参加する式典を行います。土曜日を授業日として、皆さんは出席しますので、8日(月)が休み(土曜日の振り替え休日)になります。50周年記念グッズも用意していますので、楽しみにして下さい。



小谷さんデザイン

## 【大成50年こぼれ話(その2 吹奏楽部誕生)】

昭和36年創立当時、大成中学校には吹奏楽部がありませんでした。何しろ楽器をそろえるのに大変な費用が必要でした。石ころだらけのグラウンド整備にお墓の移転、新設校にはそんな余裕などありませんでした。じっと待つこと3年、ようやく80万円ものお金を楽器購入に当て、吹奏楽部が創設されました。昭和40年の大卒初任給が約2万4千円、平成22年の大卒初任給が約19万円ですから、当時の80万円という金額の大きさがわかりますね。以来、数々のコンクールに上位入賞を果たしてきただけではなく、地域行事やイベントへの出演などを重ね、学校と地域を結ぶ“絆”の役割も果たしてきました。50周年の記念式典にも出演する予定です。



(お知らせ: 10月の語る会は、15日(金)に行います。どうぞ参加してください。)